

プロバスケットボール選手をプレーで応援

仙台 89ERS ホームゲームが白石で開催！



1\_ ホームゲーム終了後、89ERSの選手たちと記念撮影 2\_ 今回行われた仙台89ERSの試合のワンシーン。相手選手のシュートをブロックする89ERSの選手 3\_ 選手紹介でチームメイトとハイタッチ！ 4・5\_ プロの試合と同じ雰囲気の中でプレーする選手たち

3月8～9日の2日間、プロバスケットボール（bjリーグ）の、仙台89ERSホームゲーム（信州プレイブウォリアーズ戦）がホワイトキューブで行われました。白石での仙台89ERSホームゲームは平成19年に初開催。平成23年3月22・23日開催予定だった2回目のホームゲームは、東日本大震災の影響で中止になり、今回が2回目の開催となりました。仙台89ERSのチームカラーは黄色。選手たちは本来、黄色のユニホームで試合を行います。この2日間は震災復興を祈願した黒のユニホームで登場し、被災地である白石に元気を取り戻してもらいたいと、全力のプレーで観客にエールを送ってくれました。

2日目の3月9日には、選手たちをエキシビジョンゲームで応援しようと、白石市と福島県伊達市の小中学生選抜が対戦。この試合は、小学生の男女がそれぞれ7分間、中学生の男女がそれぞれ10分間プレーしました。白石選抜はトータルスコア31-74で負けてしまいましたが、プロの試合と同じ雰囲気の中で試合を行い、貴重な経験を積むことができました。エキシビジョンゲームに出場した小学生の選手は、「プロが試合する場所でプレーできて、とても良い経験ができました。プロの選手のプレーを間近で見ることができて良かったです」と、充実した表情で話していました。

のぼり旗で温麺をPR！

毎月7日は白石温麺の日



3月の市議会で可決された「奥州白石温麺振興条例」で、毎月7日が温麺の日となってから初めての4月7日、温麺の消費拡大に向け、すまいるひろばで出陣式が行われました。この日は、奥州白石温麺協同組合の組合員など約20人が参加。同組合の吉見理事長が、「市民の皆さんと協力して、白石独自の食文化である温麺を全国の皆さんに発信していきます」と抱負を話しました。その後、温麺を提供している飲食店や製麺会社など約20事業所を訪問。のぼり旗を配り、協力を呼び掛けました。

※4月号まちかどプラスの市民綱引き大会で、小学生の部で優勝したチーム名が誤っていました。正しくは「深谷小ゆかいな子どもたち」です。お詫びして訂正します。

非常時に備えて 日ごろの訓練の成果をお披露目

平成26年度春季消防演習



1\_ 白石川に向かって一斉放水 2\_ 訓練を前に通常点検を受ける団員たち 3\_ 38年の長きにわたり貢献された高橋副団長 4\_ 白石・越河・斎川・小原の各分団が素早く力強いポンプ操作を披露 5\_ 出動に備えてポンプ積載車の機械器具点検を行う団員たち

4月13日、「平成26年度白石市消防団春季消防演習」を白石市緑地公園で行いました。演習には白石市消防団（跡部敏団長）の8分団から620人の団員が参加。通常点検や部隊訓練のほか、機械器具点検、ポンプ操法、分列行進などを行い、本番さながらに訓練を繰り返して、日ごろの訓練の成果を披露しました。

風間市長は、「昨年4月には瞬間最大風速34.2mと、観測史上最大の暴風を記録。また、今年の2月15日には積雪57cmと、観測史上最大の積雪を記録するなど、本市にとって記録的な1年となりました。白石市消防団が長年にわたり培ってこられた高い消防力を堅持し、市民の安全・安心な生活を確保するため、より一層精進される

よう期待します」とあいさつしました。

跡部団長は、「災害は、いつ起こるか分かりません。白石市消防団は、日々知識と技術の向上に努め、安心・安全・確実な消防団を目指しています。火災ゼロになるよう、信念に基づいて消防団活動に力を注ぎ、これまで以上に市民に愛される消防団になりましょう」と団員に訓示しました。

この日は、38年の長きにわたり地域と消防団のために活動してきた高橋鉄夫副団長が4月30日で退団することから、演習の最後にあいさつ。「市民・団員自身の生命・財産を守るため、今の知識や技術に満足することなく、向上心を持って、知識と技術を磨いてください」と、団員たちへエールを送っていました。

春一番！ 桜・夢フェスタ

～歌え鍵盤・響け大太鼓～



1\_ 津軽三味線奏者の小野越郎さん 2\_ ピアノ弾き語りの佐藤美佐子さん 3\_ キューブ合唱団

4月10・11日、「春一番！ 桜・夢フェスタ」（春一番！ 桜・夢フェスタ実行委員会主催）がいきいきプラザで行われました。このイベントは、沢端川沿いの魅力を発信しようと昨年からの開催。満開の桜の木が入口で出迎えるいきいきプラザの一室をライブハウスに見立て、市内外のミュージシャンなど9組が特設ステージで歌や演奏を披露しました。また、絵手紙やレコードジャケットアートなどの作品展やブラジル料理などが販売され、訪れた人を楽しませていました。